

2025年（令和7年）

4月号

No.234

広報

よしか

オーガニック給食の日を実施しました！

吉賀町の学校給食の取組みとして、2月7日に第3回目となる「オーガニック給食の日」を実施しました。

今回のオーガニック給食では大雪の影響により休校になる学校もありましたが、生産者の方々が野菜を早めに収穫してくださり、雪の中でも約400食分の有機野菜を確保することができました。また、この日は「まるごとよしかの日」とも題して、主菜には町内の豆腐屋さんが作った厚揚げを、主菜とみそ汁には町内で作られた米みそを使用しており、町内産の食材を豊富に使った給食になっています。



当日は七日市小学校に有機米の生産者である立河内絆や、有機野菜の生産者の方々をお招きしました。各学年の教室ごとに分かれ、児童のみなさんに向けてお話ししていただき、質問などに答えながら一緒に給食を食べていただきました。

今回の「オーガニック給食の日」は、子どもたちにより安心安全な食材を提供したいという願いのもと、生産者の方や調理現場の方などたくさんの方にご協力いただき、実施することができました。ありがとうございました。来年度も「オーガニック給食の日」の実施を予定しています。



2月7日の献立

菜飯… 米、大根葉、小松菜

マーボー大根… 大根、厚揚げ、米みそ

吉賀野菜のおかか和え… 小松菜、ほうれんそう、キャベツ、菜花

のっぺい汁… さといも、じゃがいも、白菜、ねぎ、米みそ

●10月5日 よしかオータムセミナー開催



しまね総合診療医センター、よしか病院の主催で「よしかオータムセミナー」を開催。町内外の医療に携わる方々を対象に、しまね総合診療医センター白石センター長等の講演により総合診療について学習を深めるとともに、医療従事者相互の交流を行った。

●3月1日 よしか病院・よしか介護医療院開設1周年

●3月20日 よしか病院・よしか介護医療院開設1周年記念イベント開催

2025年
(令和7年)

●11月 毎週木曜日に小児科の診療開始

●8月17日 吉賀町の地域と医療をつなぐ会
夏季交流イベント開催



吉賀町の地域と医療をつなぐ会が主催で、小学校児童・保護者を対象とした夏季交流イベントを開催。よしか病院佐々木医師による家庭等でできる応急手当に関する講演会や、よしか病院内の様々な職種の仕事を見学する病院探検ツアーを実施した。

●12月7日 よしか病院・よしか介護医療院活動報告会開催



医療法人カタクリ会の主催による「よしか病院・よしか介護医療院活動報告会」を開催。よしか病院開設からの地域医療・介護への取り組みについて、院内の各部署からの報告及び参加者との意見交換を行った。

活動報告では、医師や看護師をはじめ、院内の様々な部署から、業務やスタッフ紹介のほか、公立病院の職員として今後どのようなことに取り組んでいきたいか等についての発表があった。

よしか病院・よしか介護医療院の情報やこれまでのイベント動画はこちら

医療法人カタクリ会よしか病院 公式Instagram



吉賀町の地域と医療をつなぐ会 YouTubeチャンネル



吉賀町の地域医療のあゆみ

令和6年3月1日のよしか病院・よしか介護医療院開設から1年が経過しましたが、この間の町や医療法人カタクリ会、吉賀町の地域と医療をつなぐ会等の取り組みの経過を年表にまとめました。

今後も、持続可能な医療・介護提供体制の確立に向けて、地域の皆様とともに取り組みを進めて参ります。

●4月27日 医療法人カタクリ会設立



吉賀町の公設民営による新病院運営を担うための組織として、医療法人カタクリ会が設立。

●2月 吉賀町の地域と医療をつなぐ会設立

よしか病院・よしか介護医療院開設を契機に、吉賀町で初となる地域の医療を守り支える取り組みを行う住民団体「吉賀町の地域と医療をつなぐ会」が設立。

●3月1日 よしか病院・よしか介護医療院開設



●4月 精神科・心療内科の診療開始

●4月30日 島根県知事より 医療法人カタクリ会へ感謝状贈呈



2024年
(令和6年)

2023年
(令和5年)

●9月1日 よしかクリニック開設



医療法人カタクリ会により「よしかクリニック」が開設。旧高尻へき地保育所の施設を拠点に、医師・看護師が患者宅を訪問し診療を行う、訪問診療を実施。

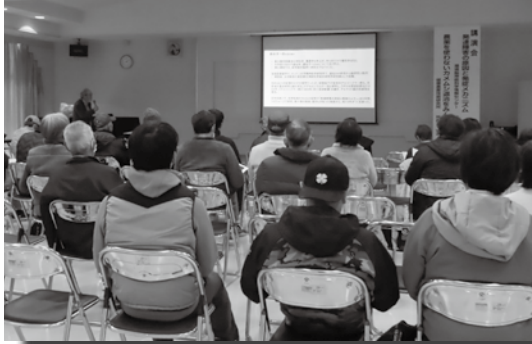
●5月12日 「吉賀町の地域と医療をつなぐ会設立記念シンポジウム」開催



吉賀町の地域と医療をつなぐ会設立記念シンポジウムが開催され、町の医療介護の現状について学習や、地域住民と医療介護関係者との顔の見える関係づくりを行った。

講演会を開催しました

2月2日（日）吉賀町六日市基幹集落センターで農薬の危険性についての講演会を開催しました。当日は、環境脳神経科学情報センター代表の黒田洋一郎さん、健康農産技術研究所所長の安保英樹さんをお招きし、ご講演いただきました。黒田さんは「発達障害の原因と発症メカニズム」と題して、日頃使っている除草剤や殺虫剤などには危険な毒性の強い成分が含まれており、健康障害や脳機能の発達障害を起こすことがわかってきているというお話しでした。安保さんは「農薬を使わないカメムシ退治をみんなで学ぼう」と題して、実際に他県で取り組まれている事例を紹介しながら、農薬を使わなくてもカメムシ退治ができるというお話でした。



当日は前日の雪の影響が心配されましたが、多くの方が熱心に講演を聞いていました。

なお、当日の資料等が欲しい方は産業課までご連絡ください。

「有機の学校 in 吉賀町」を開催しました

2月20日（木）に千葉康伸さん（NPO法人有機農業参入促進協議会 代表理事）、東広島市「安芸の山里農園 はなあふ」代表の森昭暢さんを先生にお迎えし、4回目となる「有機の学校 in 吉賀町」を開催しました。

この日は、最初に実証圃場に行き、秋に植えた玉ねぎやブロッコリーの現状把握を行いました。少し生育不良が見られたため、これまでいつどんな作業をしたのか確認を行い、先生からブロッコリーの生育が進んでない理由や、玉ねぎが弱っている理由の説明がありました。その後参加者からも肥料についての質問があり、作業時期や気温などで状態が変わることを学習しました。

圃場確認を終えて帰った座学では、初めて参加された方もいたため、写真と作業日誌を見ながらこれまでの振り返りを行いました。その後、他の農家のブロッコリーの状況などの説明があり、実証圃場との作業の比較を行い、参加者と共有しました。参加者からは定植や追肥の時期についての質問があり、土の状態によって作業が変わってくることを学習しました。

最後に今年度の総括を行い、土づくりや作業時期の重要性について皆さんと確認を行い、今年度の有機の学校を終了しました。



町では、オーガニックビレッジ宣言をしており、環境に配慮した農業の確立に向けて、今後も様々な取り組みをしていく予定としています。

40歳以上の方へ

『健康診断の受診意向調査』を行います。4月初旬に、水色の角2封筒で、世帯ごとに送付します。受診を希望する健診・検診について、調査票に記入し、**4月23日（水）（当日消印有効）**までにご提出をお願いします。

〈どうして特定健診・がん検診を受けることが大切なの？〉

自覚症状が現れにくい、そんな病気は少なくありません。だからこそ、定期的な健診と検診で健康状態をしっかりチェック！自分の体をしっかり知るのが健康維持の第一歩です。

○特定健診、がん検診（胃・肺・子宮・乳・前立腺）も、例年通り実施します。

特定健診・大腸がん検診は全年齢無料です！各種がん検診も個人で受けるより断然お得にご受診いただけます。健康づくりに欠かせない習慣として、定期的に健診・検診を受けましょう！

勤務先で健診受診を予定されている“国民健康保険加入者の方”へ

職場の健診を受診されるため、町の特定健診は受けないという方は、その旨を**役場保健福祉課までお知らせいただくと大変喜びます。**また、受診された健診の結果表のコピーを役場保健福祉課へご提供いただくと、国保の特定健診を受診された扱いとなり、町が実施している保健指導や栄養相談などを無料でご利用いただくことができます。そして、間接的ではありますが、**皆様の国保保険料の増加抑制にもつながります。**皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

健診・検診に関するお問い合わせ先 役場保健福祉課 ☎77-1165

食育コーナー 続けることははじめることより難しいといいますが

2001年に香川県の小学校で竹下和男校長（当時）が始めた『弁当の日』は、子どもが自分でお弁当をつくり学校に持っていくのですが、自分でお弁当のメニューを考えるとところから、食材の買い物、調理、弁当箱詰め、片づけまでその全てをやってみようという取組で、全国に広がっています。

柿木中学校でも平成23年から14年間「弁当の日」を実施しています。バランスの取れた食事を考え、食事についての意識を高める、家族、生産者、地域の方々への感謝の心を育むことをねらいとしており、吉賀町食生活改善推進協議会柿木班もおかず作りを教える食育スクールを開催したり、みそ汁を差し入れしたりとサポートを続けています。

町長は、職員時代に、いろいろな団体が食育推進に取り組む姿を見て、自分にできることはなんだろうと考えていた時に、平成23年2月に柿木中学校で開催された食育講演会に参加したことをきっかけに自分で弁当作りを始めて15年目を迎えました。また、「Obento（お弁当）ミーティング」として、持参した弁当を食べながら町民と気軽に意見交換を続けています。



2月3日柿木中学校弁当の日に、町長や柿木班も手作り弁当を持参して、いっしょに食べて交流をしました。その姿を見ながら、よく「続けることははじめる事より難しい」と言いますが、その言葉があてはまらないように感じました。もちろん、大変なことや苦労もあると思いますが、それぞれが何をするのか具体的な行動がわかっている、そうすることが当たり前になっている、だから続けられる、続いている活動となっている気がしました。これからも食育活動をみんなで推進していきます。

町長コラム

Vol. 85



吉賀町長
岩本一巳

交通ルールと マナーを守って！

境の確保と正しい横断方法の実践、②歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用促進、③自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守徹底の3点となっています。

毎年春と秋には全国一斉に交通安全運動が展開されます。この運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境改善に向けた取組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に行われるものです。

そして、今春の全国交通安全運動は、来る4月6日（日）から15日（火）までの10日間となっています。また、運動の重点は、①こどもをはじめとする歩行者が安全に通行できる道路交通環

特に、4月は新入学シーズンでもあることから、小学校における集団登校や中学校・高等学校での自転車利用などについて配慮が必要となります。幸い吉賀町では、津和野警察署のご指導のもと、吉賀町交通安全対策協議会の構成員である交通安全協会、母の会、交通指導員、公民館をはじめ関係機関団体の皆様の献身的な協力ご支援により、通学時及び下校時の安全が確保出来ております。さらに、運動期間内においては、交通立哨、テント村開設、交通パレードなどの活動を通して地域の皆さんに運動趣旨の徹底も図ってまいりたいと思います。

今一つ安全確保を図る上で大切なことは、前述のソフト事業のほかに道路の交通環境を整備していくことです。このことについては、道路管

理者である吉賀町や島根県、或いは津和野警察署が施策を講じていくこととなります。地域の皆様からのご要望に対して、可能な限りの対応をしてまいりたいと思います。今回は、環境整備した中でも珍しい福川地区内の事例についてご紹介します。

皆さんは、新聞で見たり、現場で見たりして既にご存じの方も多いと思いますが、福川自治会館前の県道交差点付近に「あつ！」という道路標示があります。この箇所では、以前、柿木方面から津和野方面に向かう不慣れたバイクロライダーが緩やかな右カーブを速度超過で曲がり切れず、道路下に転落する事故が発生しました。そこで、スピードが出やすい危険箇所での交通事故を防止するため、減速マークの手前にひときわ目立つ「あつ！」という道路標示を設置されたということです。恐らくこのような事例は、島根県内ではほかに無いのではないのでしょうか。地域特性に配慮して頂いた素晴らしい表示だと思っています。

今後もソフト・ハード双方の事業を効率的に展開しながら、住民の皆

さんの安心安全確保に努めてまいります。また、交通事故を無くすためには、一人ひとりが交通ルールとマナーを守っていく以外には無いわけでありです。交通安全を生涯教育として位置付け、この吉賀町から交通事故による加害者も被害者も一人も出さない、このような強い気概をもって取組んでまいります。



<福川自治会館前の道路標示>



<交通安全テント村開設時の一日ちびっこおまわりさん（昨年秋・柿木地区）>

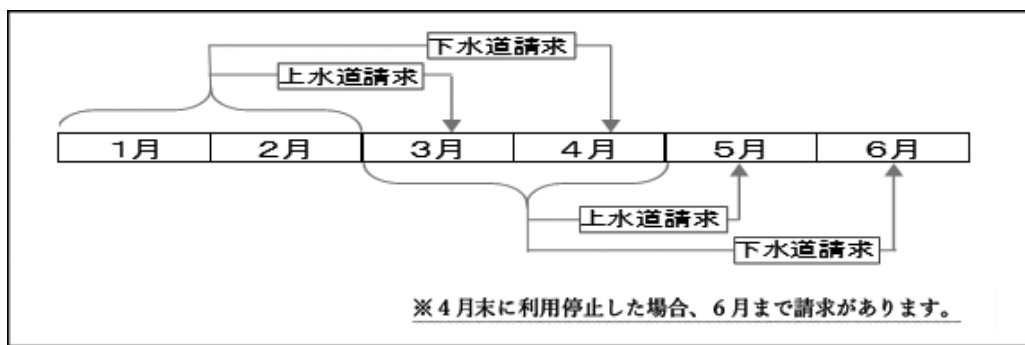
☆☆☆上下水道コラム☆☆☆

☆口座振替について☆

今回は口座振替についてご紹介します。口座振替とは、支払代金が銀行口座から自動的に引き落とされる決済サービスのことです。吉賀町の水道事業では水道料金、下水道事業では下水道使用料金、農業集落排水処理施設使用料で口座振替がご利用できます。「忙しくて支払いに行く時間がない」・「毎回支払いに出向くのがちょっと…」という方にお勧めです。また、払い忘れなども防ぐことができますし、吉賀町の経費削減にもつながります。（吉賀町が負担している納付時にかかる手数料は払い込みで60円、口座振替で10円です。払い込みと口座振替では6倍もの差があり、町民の皆様が支払い方法を口座振替に切り替えられると経費が削減できます。）

この機会にぜひ口座振替を活用されてみるのはいかがでしょうか。

奇数月の28日が上水道の引き落とし日となり偶数月の28日が下水道の引き落とし日となります。



！引き落としできなかった場合納付書と行き違いになる場合があります！
なにとぞご理解のほどよろしくお願いします。

環境情報 毎年4月から6月は狂犬病予防月間です！

狂犬病ってなに？ どのように感染するの？

狂犬病は全ての哺乳類に感染することで知られており、もちろん人も例外ではありません。人も動物も発症すると、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。主に狂犬病に感染した動物に咬まれ、唾液中に排出されるウイルスが傷口から体内に侵入することにより人に感染します。

どのくらい人が狂犬病に感染してるの？

世界保健機構（WHO）の推計によると、世界では年間におおよそ5万9千人の人が亡くなっています。日本国内では、昭和32年以降の発生はありませんが、海外で犬に咬まれた方が、帰国後に発症し亡くなられた例もあります。（1970年：1人、2006年：2人、2020年：1人）

犬を飼うにあたって何をしないといけないの？

生後91日以上犬を飼い始めたら30日以内に、町に犬の登録をし、鑑札の交付を受けるとともに、狂犬病の予防注射を犬に受けさせ、注射済票の交付を受けなければなりません。また、交付された鑑札と注射済票は、犬に装着しなければなりません。

日本国内には狂犬病の発生はありませんが、近隣諸国では狂犬病がまん延しており、日本への侵入リスクは皆無ではありません。犬の飼い主の方は、社会に対する責務として、犬の登録と年1回の狂犬病の予防注射を必ず行ってください。

吉賀町人権施策推進基本方針[第二次改定]

吉賀町まちづくり計画に基づき、『人権が尊重されるまちづくり』をめざすために2009年に吉賀町人権施策基本方針を策定しました。そして、人権課題について「考え」、豊かな人権感覚を身につけるための1つとして、2024年3月に基本方針の第二次改定を行いました。第二次改定の中のいろいろな人権課題から1つのトピックを定期的に紹介していきます♪

いろいろな人権課題

⑥外国人



吉賀町ではどのような課題があるのでしょうか？

吉賀町で生活する外国人住民は年々増加する傾向にあります。それに伴い国籍や言語も多様化しており、吉賀町内の外国人住民は2024 年末には 200 人となっています。外国人住民が増えると、他の文化に接する機会も増えていきます。国外から吉賀町で暮らし始めると外国人も文化の違いを感じる場合があります。そうした違いをお互いが認め合い、相互に理解し共に支え合うことにより吉賀町に住む全ての人が安心・安全に暮らす「多文化共生社会」の実現をめざします。

外国人の人権問題について

Q.外国人について、特にどのようなことが問題だと思えますか

- ①日常生活に必要な情報や地域の文化・習慣がわからず、日常生活に支障をきたすこと(18.1%)
- ②日本語学習や日本の生活習慣を学習する機会が少ないこと(15.9%)
- ③日本人の異文化理解が十分でなく、外国人に対する偏見を生みやすいこと(15.6%)
- ④入管施設内での収容者の死亡等不適切な取扱いに見られるような外国人政策の法的な不備があること(10.9%)

町民意識調査より(2023年実施)

地域で暮らす外国人の生活・文化を理解しよう！

外国人住民の増加に伴い、国籍にかかわらず全ての人が、同じ地域に暮らす住民として、共に生きる社会づくりの取組が進められています。例えば、簡単な日本語であれば理解できる外国人も多いため、「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを取ることも効果的です。



やさしい日本語って何???

やさしい日本語は、普通の日本語よりも簡単で、外国人にわかりやすいように配慮した日本語のこと。また、子ども、高齢者、障がいのある人などにとってもわかりやすいコミュニケーションの手段の一つ。

(例)

○身分証明書を拝見させていただけますか。⇒身分証明書を見せてください。

○土足厳禁⇒靴を脱いでください。

吉賀高校支援室だより

吉賀

中3生「高校進学に関するアンケート」結果から

「吉賀高校一般入試志願者ゼロ」というショッキングな報道をご覧になった方も多くいらっしゃるかと思います。支援室にもたくさんのご心配の声をいただきました。吉賀高校にずっと関わっていただいているかたはもちろん、今まではあまり興味のなかったかたも、改めて吉賀高校に関心を持っていただき有難うございます。

今回は、島根県立高校の入試制度が大きく変わって初めての入学者選抜でした。これまでの中学校長の推薦が必要な「推薦入学者選抜」が廃止され、総合入学者選抜、スポーツ推進指定校入学者選抜、中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜の3つの選抜を総称して「特色入学者選抜」となりました。吉賀高校はスポーツ推薦指定校ではありませんが、県内に2つしかない中高一貫教育校の1つです。

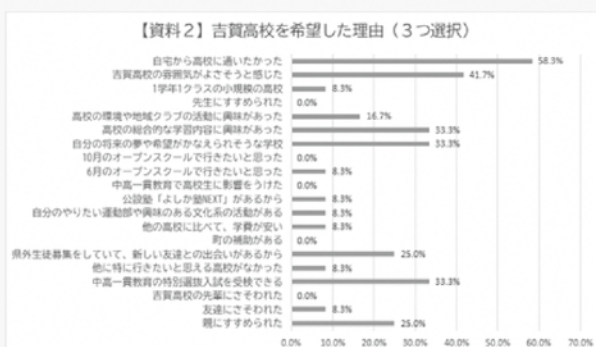
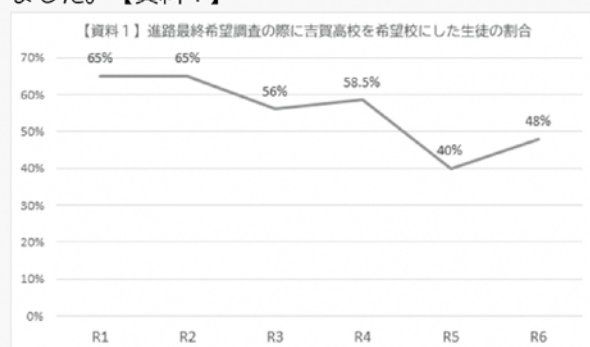
今年度の吉賀高校の「特色入学者選抜」の合格内定者の人数は16名ということです。

島根県教育委員会の「令和7年度入学者選抜制度の改善方針」によると、今回の制度改定には以下の3つの目的が掲げられています。

- ①中学生が多様な選択肢の中から主体的に高校を選ぶことができるようにする。
- ②生徒一人一人の資質・能力を多面的・総合的に評価する。
- ③各高校の教育の魅力化・特色化を推進する。

自分の良さを活かし、もっと伸ばしていくことができる学校を選ぶ自由度がどんどん高まる一方で、生徒募集に関する競争も激化しています。島根県から始まった、県外からの生徒を受け入れる「地域みらい留学」制度は全国へ広がり、参画校は150校を超えました。学校が生徒を、企業が人材を、地方が若者を奪い合うような、そんな日本になっていくのでしょうか。

さて、吉賀高等学校支援室では毎年町内3中学校の3年生を対象に「高校進学に関するアンケート」を実施しています。アンケート結果によると、吉賀高校を希望した生徒は全体の48%で、昨年度の40%を上回りました。【資料1】



また、吉賀高校を希望した理由で最も多かったのは「自宅から高校に通いたかった」で58.3%(7名)でした。【資料2】鉄道のない吉賀町では、自宅から通学することができる唯一の高等学校は吉賀高校です。昨年度の65.0%(13名)よりも割合は小さくなっていますが、令和3年度から毎年半数以上の「生徒が自宅から高校に通いたかったから」という理由で吉賀高校への進学を希望しています。また、今年度は「県外生徒を募集しており、新しい友達と出会えるから」という理由を選択した生徒が多く、中学生にとって新たな出会いの機会も魅力の一つであることが再認識されました。

一方で、吉賀高校を希望しなかった理由で一番多かったのは「大学に進学するには、あまり有利ではないと思った」と「自分のやりたい部活動がなかった」であり、ともに38.5%(5名)でした。前者については、支援室が運営する公設塾「よししか塾NEXT」の存在が十分に伝わっていない可能性があり、後者については中高の部活動の接続の改善を模索する必要があるとみられます。

支援室は、今後も毎月のプロジェクト会議などを通じて吉賀高校と吉賀町の各部署との連携をさらに強化し、吉賀高等学校支援協議会を中心に地域とのつながりを深めていきます！町内生徒はもちろん、町外県外の生徒と保護者から「選ばれる」吉賀高校となるよう引き続きやるべきことを精一杯取り組んでいきます！

吉賀町立図書館

【新刊図書】

2月に新しく入ったCDとDVDを少しご紹介します。

CD

『おかあさんといっしょ 最新ベスト』
『わくわくみつけた！ こどものうたランド』
『中山美穂 パーフェクト・ベスト 2』
『ゆず 図鑑』
『宇多田ヒカル SIENCE FICTION』

『令和フレッシュ 演歌歌謡曲』
『歴代テイチク 演歌ベスト』
『D a i C E M U S i - a M』
『小田和正 自己ベスト 3』
『HY LOVE STORY』

DVD

『九十歳。何がめでたい』 主演 草笛光子

※DVDは館内で鑑賞していただくだけです。
CDは貸出可能です。

【心が動いた私の一冊】

今年度も当館より「心が動いた私の一冊」の作品募集を町内の小・中学校、高校に呼びかけたところ、およそ200点の応募がありました。今回も、いろいろな本が紹介されています。
この応募作品を春休みの期間に合わせて館内で展示をいたしますので、どうぞ来館ください。

《展示期間と場所について》

・小学校の部

3/15（土）～3/27（木） 多目的室にて
9:00～17:00 閉館まで

・中学校・高校の部

3/29（土）～4/11（金） 多目的室にて
9:00～17:00 閉館まで
どなたでもご覧になれます。



【休館日と返却ポスト】

- ・毎月曜日と4/29は祝日のため休館です。
- ・4/27は夢花マラソンのため休館です。

《図書館利用状況2月》

- 貸出総数 2644冊
- 貸出人数 393人
- 来館者数 438人

柿木公民館

穏やかな陽光を浴びて草花が咲きほころび、桜の花も舞い散り春爛漫を全身で楽しむ時季。旧暦ではこの月を「卯月」といいます。文字通り卯の花が咲く頃ということから名づけられたという説が一般的です。新暦四月は桜が咲き、春たけなわの時期ですが、旧暦ではこの月から夏が始まります。そのため「花残月」「夏初月」などの異名もあります。

【今月の本の紹介】

はたらく物語 河野 真太郎
ストレスを操る DaiGo
LAST 石田 衣良
代理処罰 嶋中 潤
事件持ち 伊兼 源太郎
朝が来る 辻村 深月
世界の有名美術を1冊でめぐる旅 山上 やすお

神時間力
身近な野鳥の観察図鑑
日本核武装
仮想儀礼上下
虚ろな十字架
うずら大名

星 渉
高野 丈
高嶋 哲夫
篠田 節子
東野 圭吾
畠中 恵



開館日：火～金曜日及び毎月第2・4の土日
開館時間：9時～16時
休館日：毎月曜日と祝日



おかげさまで開館

20周年!

Grand Toit 20th



20th

Grand Toit 20th



祈りと美の 石見の未来へつなぐ中世の宝

開館20周年
記念企画展

小中高生
無料

2025 4/26(土) → 6/16(月)

【前期】4月26日(土)～5月19日(日)

【後期】5月21日(水)～6月16日(月)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)

【休館日】毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)、
4月30日、5月7日

【観覧料】当日券:一般1,300円(1,050円)、大学生600円(450円)
前売券:一般1,100円、大学生500円

島根県立石見美術館

上:野村萬斎(絵巻図)部分 安土桃山時代・16世紀 島根県立石見美術館蔵 市史文庫蔵【所蔵者】
下:(不詳)三才図 平安時代・12世紀 神奈川県立美術館蔵 東京都立美術館蔵【所蔵者】

information

石見美術館 観覧料のご案内

- ▶▶▶ 令和7年度の高校生以下の観覧料は、企画展・特別展・コレクション展ともに無料です!

※一般、大学生等は企画展ごとに異なります。
コレクション展とセットになった「前売券」がおすすめです。
当日でも「シマチケ」で購入可能。詳しくはホームページ等でご確認ください。

- ▶▶▶ すべての展示を何度でもご覧いただける観覧券
「ミュージアムパスポート」をぜひご利用ください。

一般 3,000円 大学生 1,800円

シマチケWEB会員のご案内



- ▶▶▶ オンラインで美術館と劇場のチケットが購入できる
便利なWEB会員。

年会費・会員登録料 無料

会員登録はこちら ▶▶▶



グラントワ開館20周年記念
しまね伝統芸能祭2025オープニング公演

中庭広場の水盤を舞台に
美術と音楽が織りなす
一夜限りの幻想的な時間を
お楽しみください。

2025年4月27日(日) 日没後

グラントワ中庭広場 入場無料・全席自由

出演者:大川俊輔(音楽家) 福原千鶴(小鼓奏者) 志人(語部) 中山晃子(画家)

野村萬斎
狂言の
夕べ

2025
5/16(金)
開演 18時
開場 17時45分
30分

三番叟 野村萬斎
六地蔵 石田幸雄

2025
5/16(金)
開演 18時
開場 17時45分
30分

シマチケ

【チケット発売中】

ご購入は便利なシマチケで。



全席指定・税込/未就学児入場不可
S席 前売6,500円 当日7,000円
A席 前売5,000円 当日5,500円
高校生以下(S席・A席一律)前売3,500円 当日4,000円
※無料託児サービスあり(5月9日までに要申込)



—グラントワ開館20周年記念— 渡辺貞夫カルテット 2025

グラントワ大ホール

2025.6/22(日)

開場16:15 開演17:00

チケット
発売中

全席指定・税込 一般8,500円 シマチケ ご購入は便利なシマチケで。
U25チケット4,000円(25歳以下対象・当日座席指定・当日身分証必要)
※前売・当日同料金 ※6歳以上有料。未就学児入場不可
※無料託児サービスあり(6月15日までに要申込)



《寄稿》

大雪、今昔咄し

竹中 和博

久しぶりに大雪が降りました。日本海の海水温が高く、そこから供給される水蒸気が多くなり日本海側の各地はもとより南九州から四国でも積雪が記録されました。

昨年は夏頃から雨が降らず水不足となったり、11月頃まで夏日を観測する所があったり、秋の無い状況でしたし、1月も桜の咲く頃の陽気と言ってみたり、今年は春が早く来るのかなと思いきや1月下旬から急に本格的な冬の様相となって、観測史上の積雪が最大となる地域もあって、もう予測の出来ない気温の変化に体の方も戸惑ってしまいました。

10年来雪掻きらしい事はしなかったのですが今年は違いました。朝昼晩に雪掻きをする羽目になりました。大雪で思い出されるのは、昭和38年(1963年)の俗に言う「38豪雪」です。家の前は軒先まで積もり優に2m超はあったと記憶しています。小学生も大人の背丈もある中5〜60cmの雪の壁の道を通学してました。しかし大雪も米農家にとつては一安心と言う面もあります。つまり奥山(500m以上)に積った雪が根雪となり4〜5月頃に溶け出して水田の水となるからです。雪が無ければ動き易いのでいいのですが農家は頭を悩ますところです。自然はそう甘くはないですよね!

予期せぬ豪雨や豪雪又は桜の開花の早まり等は前述の様に地球温暖化に起因するものと言われ続けています。温暖化を止める努力を一人一人出来る事から行動し、小学校の入学式の日に桜満開となればいいなと思います。

《寄稿》

郷里回想録二十三

橋本 雅夫

かつて、凡そ三百年の長期間武家政治を統括せし江戸幕府は全国各津々浦々迄の諸藩制度を確立従って諸国各々所藩は自ら統治の為欲するに藩体制施策基盤確立に鋭意努力、創意工夫を凝らし諸藩内産業定義促進化計るに至る。従って例えば赤穂藩の製塩、山城国が繊維、久留米藩製飛白等、郷土津和野藩に於いては、三椏、楮栽培に伴ふ紙鋤き業等々藩内政事情に關与せしめたる。是等後々世の幾多の変遷を得て、現世に至つては、単一国家制でありしも時すでに昭和に換算すれば早や百年の歲月、又、戦後は八十年余りの幾星霜経過と相成る。

此の間中央集権集中化を勘案と同時に地方活性化策案として国策の一

貫である「地方創生」論従え後見するに、現世令和の世相から鑑みれば實に幾久しく思われてならない。然るに是は、農耕地はかつてより減反、休耕田、更に作付け転換補助金制度等限無く年々着手施され、かかる折りしも歲月は待たず何時しか数十年の経年を得て、今や郷土を振り返り見参すれば、取り分け、農村居住地は廃居化に伴い山崩れ落ちたる土蔽の残骸や加えて、里山は寄木に立暗み名木の枯死、蕨、薇、虎杖等更に山莓の類をも毛頭無くなり、就中、友と夕刻迄も走り廻りし田舎元風景草叢が小道、又、蛇、ハミ(蝮の事)の生息草地小影、あるいは、小魚を取りし小川等々廃の途を辿り谷川水流とて枯れ果てた。凡そ半世紀足らずの内に良き昭和の二、三十年代等の面影は無残にも儚く消え失せしもの。ありし日の栄華精鋭を余所に時折りしも残映なるは、ただ漠然とした懐かしさのみが、若干の四季折々の風と共に幾等かの郷愁を誘い甦えさせる。語らんと思案ざりしや矢先の国策「地方創生」とは如かなるものか、又、其の背景はと暗中模索の内にも其の神髓たるやややもすれば抑々今生は「現場に解あり」とも一人思考す郷里回想の昨今ではあると同時に新政府案起承注目期待す早春誌すものである。

《俳句》

残雪や浮かびし一句日記に記し

田村 民子

全てのもの元旦の朝新なり

村上 毅

雪女ことと寄り添ふ夜の雨戸

三浦 一美

新雪や軋ませ来たり赤バイク

竹中 和博

戸締まりの窓に小ぶりの寒の月

山崎 美智子

冬ざれや裏畑に積む野菜屑

齋藤 ツル子

上方へ帰る娘送る春の雪

河野 由希

浅き春命日のチョコちと苦がし

平岡 雅子

風花や筵踏み入る医院かな

糟谷 圭子

席題のメール送るや寒ぬくし

青木 道子

《川柳》

古稀超えて診察券で財布肥え

竹中 和博

栄一さんたまにやあウチにも寄つてえね

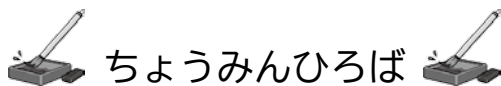
谷尻 和好

残す事分かつているがたまらない

岩上 武史

大相撲態を残して反りかえる

石村 菊夫



ちょうみんひろば

演芸会余韻が残る名演技

橋本 雅夫
食事会残りの一つ誰が取る

水上 健二

残り物福が出るかな宝クジ

大庭 和子

思い出も私もセピア色に残りけり

田村 民子

勿体ない残りの米粒摘み食い

澤 三智代

人生の最後に残すありがとう

池下 邦枝

おおみそか干支の交代あわたし

村上 毅

やむをえぬ刺抜く時は老眼鏡

長峯 辰雄

《短歌》

雪かきや腰軋ませし夕餉前

今日三度目と睨む曇天

竹中 和博

夢うつつ浮世に妙へて眺むれば

心にあらざる夜半の月かな

橋本 雅夫

会ふごとに一期の思ひ去りがたく

手を取りてまた呼びかけてみる

長峯 辰雄

山口線するどい警笛こだまする

黒煙はいて貴婦人走る

豊田 百恵

届くLINEは雪のこと

共に回想穏かな朝に

中村 恵己子

ひやこれども朋輩知らず寒風に

手を振り思い届いて笑う

齋藤 みどり

出生すこやかに(2月届出)

齋藤 愛佳(あいか)さん

雄大・理沙さんの子 柿木

お悔みやすらかに(2月届出)

安達 勝 さん 92歳 七日市

羽野 万樹男 さん 81歳 福川

進藤 卓司 さん 72歳 福川

佐々木 妙慧 さん 95歳 柿木

木村 裕栄 さん 95歳 沢田

同意が得られた方のみ記載しています。

吉賀町の人口・世帯数
(令和7年2月28日現在)
人口 5,539人 (-19)
男 2,668人 (-6)
女 2,871人 (-13)
世帯数 2,936世帯 (-8)

寄稿・文芸コーナー応募方法とお知らせ

●毎月1日までに提出してください。

●寄稿は五〇〇字以内としてください。

●楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。

●応募作品は、基本的に原文のまま記載しますが、原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。

●作品の内容によっては掲載しない場合があります。

●応募多数の場合等は掲載しない場合があります。

●希望のコーナー名を記載ください。

●掲載の有無は連絡いたしません。



*** おでかけカレンダー ***

4/6(日) ☼、20・15・25 周年祭

春の山野草観察会

4/13(日) ☼、みんなちがってみんないい

4/20(日) ☼、てらすの春まつり

4/27(日) よしか・夢・花・マラソン

ヨンニチガルテン

4/29(火祝) ☼

☼→木部谷温泉松乃湯営業日



木部谷温泉松乃湯
Instagram



ヨンニチガルテン
Instagram

春の山野草観察会



コウヤマキ自生林ふもと周辺を散策しながら、共に育む山菜の知識を知り、採取した山菜をみんなで料理♪
採れたての春を楽しく頂きましょう！

■4/6(日) 9:00～受付 10:00～入山

昼食後 14:00 解散予定

■大人 ¥2,000 小学生 ¥1,000 (保険料・昼食代込)

■予約締切: 3/30(日) 定員 20名

■お問い合わせ&予約受付

・株式会社サンエム Tel: 0856-77-1494 (月～金)

・吉賀町観光協会 Tel: 080-2922-1506 (土日)

・有飯コウヤマキギャラリー

Tel & Fax: 0856-77-0756 (土日)

20・15・25 周年祭



吉賀町は 20 年、道の駅は 15 年、ゆ・ら・らは 25 年の誕生会！
おいしく楽しくみんなで祝いましょう♪

■4/6(日) 10:00～15:00

■むいかいち温泉ゆ・ら・ら中庭周辺 吉賀町有飯 238-2

■産直・物産館やくろ Tel: 0856-77-3040

みんなちがってみんないい



いろんなみんなが持ちよった「たべる&モノ&つくる」がいっぱい！
音楽ライブや手作りプレーパークもあるよ♪

■4/13(日) 10:00～15:00

■道の駅かきのきむら横 吉賀町柿木 500-1

■柿木公民館 Tel: 0856-79-2553

てらすの春まつり



イースターエッグを探したり、ジムのトレーナーさんと運動したり元気に遊んでいっしょに春を楽しもう！
フリーマーケットやストリートピアノ、カフェもあるよ♪

■4/20(日) 10時～14時

■高津川てらす 吉賀町真田 1120 Tel: 0856-78-0135

掲載の情報は予告なく変更になる場合があります。お問い合わせ: 吉賀町観光協会 〒699-5506 島根県鹿足郡吉賀町有飯238-2 ☎080-2922-1506 定休日: 火・水

